

---

# 復讐者

クロザトウ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

復讐者

### 【Nコード】

N0920BA

### 【作者名】

クロザトウ

### 【あらすじ】

傷だらけで倒れていた青年。

過去の自分も思い出せず、これからどうしていいか解らない。

そんな彼を助けてくれた少女>アリサ<

少女の村を山賊が襲う。

復讐のために強くなつていく青年の物語。

## 序章 逃走者（前書き）

小説を書くのは初めてなので至らぬ点もあると思いますが、  
温かい目で見てください。

## 序章 逃走者

序章 逃走者

ザーーーーーザーーーーー

大雨が降っていた。

深い森の中、雨音だけが聞こえる。

影がよぎる。

一人の若い男が森の中を全力で走っていた。

木々の間を器用に走り抜けている。

ハアハア

もう長い時間走り続けているのだろう。

目に見えて疲労の色が濃い。

今にも倒れこみそうである。

全身が雨でずぶぬれになり、走りにくそうだ。

それでも、限界以上の力を振り絞って走っている。

ハアハア

周りに生い茂る草木を完全に避ける事ができない。

手や足に細かい傷が増えていく。

しかし、そんなことはどうでもいい。

葉のこすれる音が自分のいる場所を教えるのではないか。

そちらのほうに気がかかる。

辺りの滝のような雨音が男の逃げる音を消しているはずだが  
その不安が抑えられない。

泥に踵まで沈み込む。

足が取られそうになるが必死にバランスをとって走り続けている。

ハアハア

もうどれくらい走っただろうか。

1時間ぐらい走ったかもしれない。

(もう……立ち止まって……も……)

体が休息を激しく訴える。

追っ手を確認のため振り返ろうとするが、  
後ろを振り返れない。

その瞬間後ろからおってくる者つかまってしまう。

そんな錯覚がぬぐいきれない。

ハアハア

傷だらけで走る。

どこに向かっているかなんて考えていない。

今はただ後ろから追ってくるものとの距離が少しでも離れられたら  
それでいい。

ハアハア

息が苦しい、

でも止まれない。

追いつかれたら助からない。

今の自分には何もかもが足り無すぎる。

いま、生きるには逃げるしかない。

ハアハア

また、足が泥に取られる。

こらえようとしますが今度は体勢が悪い。  
体が崩れる。

下り坂を転げ落ちる。

止まらない。

そこへ、森が途切れた。

身長ほどの段差に放り出される。

そこは川原になっていた。

目の前に大きな石がある。

疲れきった体では受身も取れなかった。

転げ落ちる勢いのまま、石に頭をぶつける。

倒れ付したまま、辺りの様子に気を配る。

雨が降っている。

それ以外何も聞こえない。

(… . . . 逃げ切れたのか… . . . )

わずかに生まれた安心感と

限界を超えて酷使した手足はもう言うことを聞いてくれない。

(… . . . ミテイロ… . . . 必ズ… . . . 復讐してヤル… . . . )

そのまま意識は闇の中に吸い込まれていった。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0920ba/>

---

復讐者

2012年1月2日01時48分発行